

メキシコは、全般に自給率が低いですが、特定の農作物に関しては100%を大きく上回っている。  
このような状況にある背景を答えなさい

2011年 単位%

国	米	小麦	砂糖類	いも類	野菜類	果物類	肉類
イ	190	171	101	93	91	75	116
口	180	0	372	378	105	155	127
ハ	100	95	95	90	102	102	99
トルコ	79	122	112	100	106	132	106
メキシコ	15	57	86	77	177	118	81

$$\text{自給率} = \frac{\text{国内生産量}}{\text{国内向け供給量}} \times 100 = \frac{\text{国内生産量}}{\text{国内生産} + \text{輸入} - \text{輸出量} \pm \text{在庫}} \times 100$$

メキシコは、全般に自給率が低いが、特定の農作物に関しては100%を大きく上回っている。  
 このような状況にある背景を答えなさい

2011年 単位%

国	米	小麦	砂糖類	いも類	野菜類	果物類	肉類
イ	190	171	101	93	91	75	116
口	180	0	372	378	105	155	127
ハ	100	95	95	90	102	102	99
トルコ	79	122	112	100	106	132	106
メキシコ	15	57	86	77	177	118	81

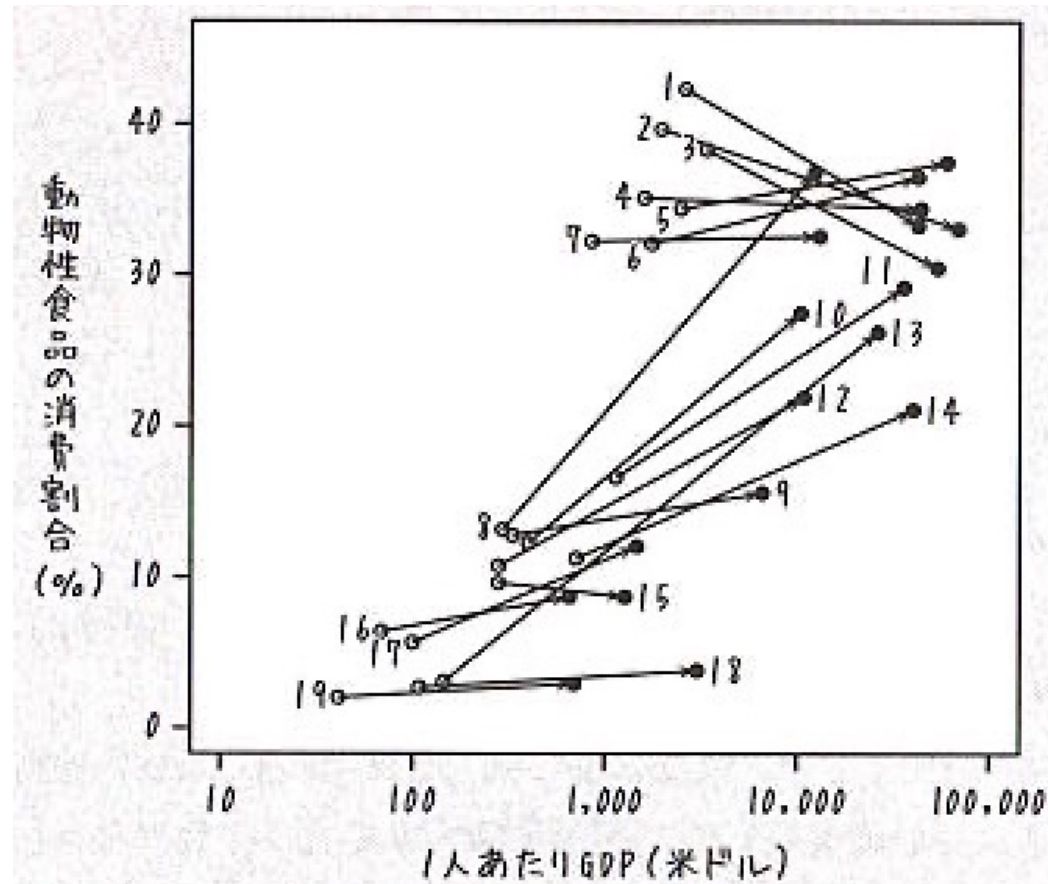
$$\text{自給率} = \frac{\text{国内生産量}}{\text{国内向け供給量}} \times 100 = \frac{\text{国内生産量}}{\text{国内生産} + \text{輸入} - \text{輸出量} \pm \text{在庫}} \times 100$$

分母が分子より小さくなるためには輸出量が  
 大きいことが原因

→ 米国への輸出量が多い

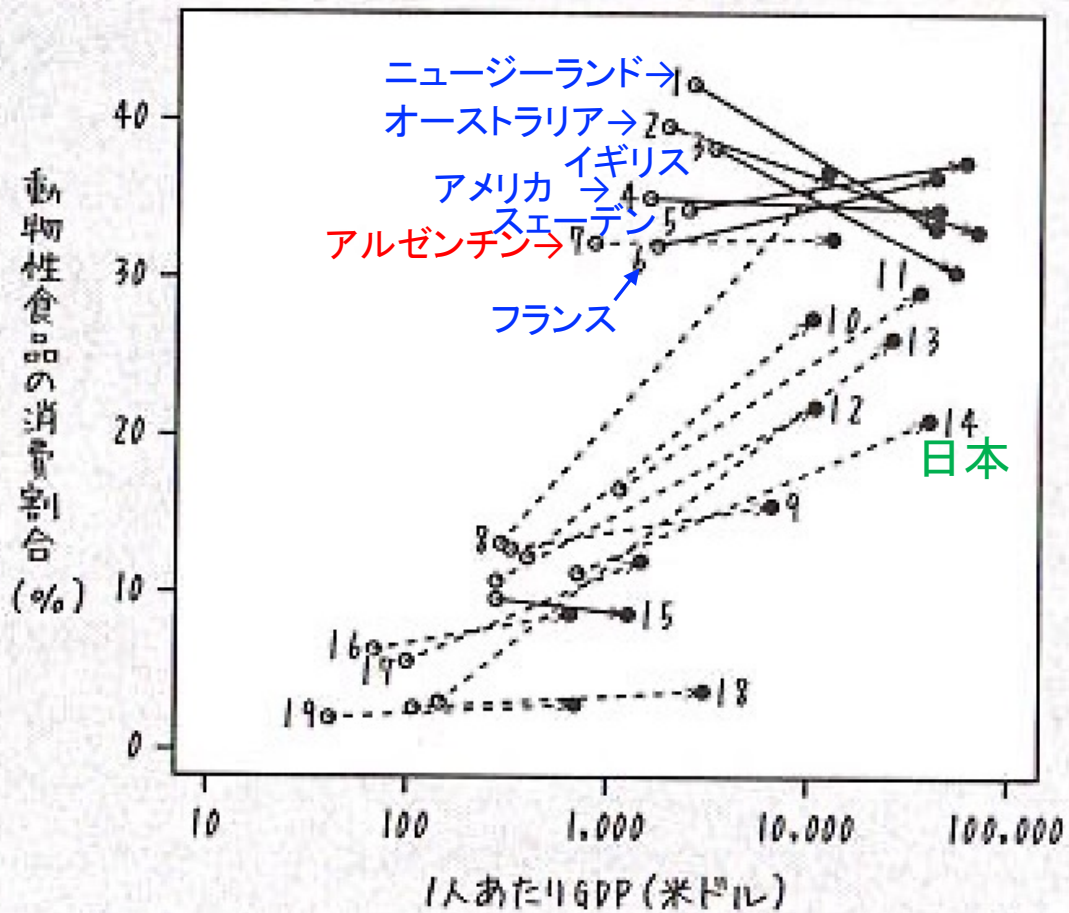
先進国では一般に、肉などのカロリーの高い動物性食品の消費量の割合が高い。

1～6の国では、1963年(○)から2013年(●)にかけて経済が成長しているにもかかわらず、動物性食品の消費割合はあまり増えていないか減少している。それはなぜか？



国名：1 ニュージーランド、2 オーストラリア、3 イギリス、4 アメリカ合衆国、5 スウェーデン、6 フランス、7 アルゼンチン、8 ブラジル、9 ペルー、10 メキシコ、11 イタリア、12 マレーシア、13 韓国、14 日本、15 ジンバブエ、16 ウガンダ、17 インド、18 ナイジェリア、19 ルワンダ。

国連食糧計画および世界銀行資料による。



国名：1 ニュージーランド、2 オーストラリア、3 イギリス、4 アメリカ合衆国、5 スウェーデン、6 フランス、7 アルゼンチン、8 ブラジル、9 パルー、10 メキシコ、11 イタリア、12 マレーシア、13 韓国、14 日本、15 ジンバブエ、16 ウガンダ、17 インド、18 ナイジェリア、19 ルワンダ。

国連食糧計画および世界銀行資料による。

1～6はもともとGDPが高く裕福だったため肉消費量は多かった  
最近が高齢化、健康食ブームが進み消費量が減少

アルゼンチンは、肉消費量は多いが、高齢化はまだ進んでいない

破線の国は、GDP増加と共に肉消費量が増えている

「動物性食品の消費量の割合」=「経済成長率」-「高齢化」